

ージ、3項中学校費は6億8,874万1,872円で、76.8%の増、これは241ページ、1目の備考欄、005中学校施設環境改善事業の増加などによるものでございます。

244ページ、4項社会教育費は3億3,116万414円で、17.7%の増、これは253ページでございますが、6目の備考欄、001芸術文化振興事業でのコンサートグランドピアノ購入に伴う増加などによるものでございます。

257ページ、5項保健体育費は3億7,238万188円で、31.2%の増でございます。

10款教育費の歳出全体に占める構成比率は0.4ポイント減少し、8.3%となりました。

次に、265ページ、11款災害復旧費は1億2,110万1,587円で、昨年8月の豪雨災害に伴い、559.2%、1億273万1,587円の増加でございます。

11款災害復旧費の歳出全体に占める構成比率は0.5ポイント増加し、0.6%となりました。

266ページ、12款公債費は14億5,297万2,939円で、13.1%、1億6,813万3,636円増加しており、歳出全体に占める構成比率は0.3ポイント増加の6.8%となりました。

下のページ、13款予備費につきましては、予備費支出及び流用増減として2,196万7,512円を計上し、不用額は803万2,488円でございます。

以上、歳出合計は8.2%、16億752万9,028円増加し、212億7,201万2,776円となりました。

最後に、実質収支に関する調書についてご説明申し上げます。

331ページをお開き願います。ページの左側が一般会計の調書でございます。歳入総額が219億1,284万2,698円、歳出総額が212億7,201万2,776円、歳入歳出差引き額は6億4,082万9,922円、翌年度に繰り越すべき財源は繰越明許費繰越額のみで4,791万8,000円となっておりますので、実質収支額は5億9,291万1,922円でございます。

以上が令和4年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○竹田陽一委員長 2番、鈴木英則委員が出席しましたので、ご報告いたします。

なお……。

(「委員長、議事進行」の声あり)

○竹田陽一委員長 13番、平 進介委員。

○13番 平 進介委員 この委員会の開会冒頭に、鈴木英則委員が不在ということで、委員長のほうから本日の欠席委員は鈴木英則委員という最初の宣告がありましたので、本日の鈴木英則委員については欠席扱いとすべきだと思いますが、いかがでしょうか。

○竹田陽一委員長 暫時休憩します。

午前10時25分 休憩

午前10時27分 再開

○竹田陽一委員長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

少し説明をさせていただきます。先ほど鈴木英則委員が出席しましたので、ご報告いたしますと、次に、なお、冒頭欠席と報告いたしましたが、遅刻に訂正いたしますとさせていただきますと思います。よろしいでしょうか。

皆様にお諮りいたします。ただいま私が説明した内容でご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○竹田陽一委員長 異議なしということで、再度報告いたします。2番、鈴木英則委員が出席しましたので、ご報告いたします。

なお、冒頭欠席と報告いたしましたが、遅刻に訂正をいたします。

次に、認第1号の令和4年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及び令和4年度長井

市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

逸見睦子市民課長。

○逸見睦子市民課長 おはようございます。

初めに、令和4年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要をご説明いたします。

歳入歳出決算書の15ページをお開きください。歳入合計では、調定額25億6,673万4,628円に対し、収入済額は前年度対比2.8%減の25億3,344万2,458円で、収入率は98.7%でした。調定額のうち479万4,260円を不納欠損処分とし、収入未済額は2,849万7,910円となりました。

17ページをお開きください。歳出合計では、予算現額23億8,013万1,000円に対し、支出済額は前年度対比3.7%減の22億1,068万675円で、予算執行率は92.9%、不用額は1億6,945万325円となりました。

18ページをお開きいただき、歳入歳出差引き残額3億2,276万1,783円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

それでは、事項別明細書により説明いたしますので、歳入歳出決算書の269ページをお開きください。歳入から説明いたします。1款国民健康保険税は、調定額4億9,281万7,282円に対し、収入済額は前年度対比9.6%減の4億5,973万7,326円となっています。調定額のうち479万4,260円を不納欠損処分とし、収入未済額は2,828万5,696円となりました。

270ページをお開きください。以下、収入済額について、令和3年度との比較で申し上げます。2款使用料及び手数料は、9.5%減の20万2,500円となっています。

271ページをご覧ください。3款国庫支出金は皆減、4款県支出金は4.7%減の16億165万4,000円となっています。

272ページをお開きください。5款財産収入は、14.2%増の3,457円となりました。

273ページをご覧ください。6款繰入金は

1.6%増の1億5,744万3,680円となっています。

274ページをお開きください。7款繰越金は19.4%増の3億1,257万5,950円となりました。

8款諸収入は、35.5%増の182万5,545円となりました。

次に、歳出です。276ページをお開きください。支出済額について、令和3年度との比較で申し上げます。1款総務費は1.3%増の1,852万5,437円で、1項1目一般管理費が0.3%増の1,456万2,436円などとなりました。

278ページをお開きください。2款保険給付費は3.4%減の15億5,438万5,728円で、1項療養費は3.2%減の13億5,600万9,104円、279ページをご覧ください。2項高額療養費は4.6%減の1億9,451万5,409円となりました。

280ページをお開きください。4項出産育児諸費は、13.6%減の228万1,050円です。

281ページをご覧ください。5項葬祭諸費は8.8%減の155万円、6項傷病諸費は3万165円で皆増となっています。

3款国民健康保険事業費納付金は、3.6%減の5億6,229万5,230円となりました。

282ページをお開きください。1項医療給付費分は3.8%減の3億7,601万78円、2項後期高齢者支援金等分は3.6%減の1億3,939万6,236円、3項介護納付金分は1.7%減の4,688万8,916円となりました。

283ページをご覧ください。6款保健事業費は、1.1%増の3,651万7,979円となりました。

284ページをお開きください。1項特定健康診査等事業費は1.5%増の2,194万3,999円、2項保健事業費は0.6%増の1,457万3,980円となりました。

285ページをご覧ください。7款基金積立金及び8款公債費の支出はありませんでした。

286ページをお開きください。9款諸支出金は、18.5%減の3,895万6,301円となりました。

1項3目償還金が3,667万351円などとなってい

ます。

287ページをご覧ください。10款予備費からの充用はございませんでした。

続きまして、令和4年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明いたします。

34ページをお開きください。歳入合計では、調定額3億8,300万516円に対し、収入済額は前年度対比1.9%増の3億8,221万5,616円、収入率は99.8%でした。調定額のうち39万5,900円を不納欠損処分し、収入未済額は38万9,000円となっています。

35ページをご覧ください。歳出合計では、予算現額3億9,942万1,000円に対し、支出済額は前年度対比2.3%増の3億7,708万2,893円で、予算執行率は94.4%、不用額は2,233万8,107円となりました。

36ページをお開きいただき、歳入歳出差引き残額513万2,723円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書にて説明いたします。

321ページをお開きください。

まず、歳入についてご説明いたします。1款後期高齢者医療保険料は、調定額2億7,175万6,000円に対し、収入済額は前年度対比1.3%増の2億7,097万1,100円となっております。調定額のうち39万5,900円を不納欠損処分とし、収入未済額は38万9,000円となりました。

以下、収入済額について、令和3年度との比較で申し上げます。2款使用料及び手数料は、4.3%増の4万8,000円です。

322ページをお開きください。3款繰入金は2.5%増の1億457万793円、4款繰越金は22.1%増の654万1,323円、5款諸収入は56.7%減で、8万4,400円となりました。

次に、歳出についてご説明いたします。324ページをお開きください。支出済額について、令和3年度との比較で申し上げます。1款総務

費は9.1%増の518万5,469円で、1項総務管理費は78万2,991円、2項徴収費は440万2,478円となりました。

325ページをご覧ください。2款後期高齢者医療広域連合納付金は2.2%増の3億7,183万7,624円で、1項1目の内訳として、保険料等負担金が2億7,240万5,900円、保険基盤安定制度分が8,308万5,568円、事務費負担金が1,634万6,156円となっています。

3款諸支出金は、88.1%増の5万9,800円となりました。

よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

○竹田陽一委員長 次に、認第1号の令和4年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 それでは、令和4年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書の20ページをお開きください。歳入でございます。分担金及び負担金、財産収入、繰入金合計で、収入済額は前年度対比3.3%減の2億653万7,561円となりました。

次に、21ページをご覧ください。歳出でございます。山形鉄道助成費及び基金積立金の合計で、支出済額は前年度対比3.3%減の2億653万7,561円となっております。歳入歳出差引残額はゼロでございます。

続いて、事項別明細書により主な項目を説明いたします。

289ページをお開きください。歳入でございます。1款1項1目山形鉄道運営助成費負担金は、収入済額が7,916万4,000円で、長井市を除く県及び1市2町の負担金でございまして、前年度と同額でございます。

3款1項1目一般会計繰入金は、収入済額が2,883万6,000円で、これは長井市の運営助成費

負担金でございまして、前年度と同額でございます。

次の290ページをご覧ください。同じく3款の2項1目基金繰入金でございますが、収入済額は9,853万6,097円で、前年度対比6.9%の減でございます。

次に、291ページをご覧ください。歳出でございます。1款1項1目の運営助成費は、山形鉄道運営助成基金補助金でございまして、支出済額9,853万6,097円で、前年度対比6.9%の減でございます。

次に、2款1項1目基金積立金でございますが、支出済額1億800万1,464円で、前年度とほぼ同額でございます。

以上が長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

○**竹田陽一委員長** 次に、認第1号の令和4年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

佐藤秀人健康スポーツ課長。

○**佐藤秀人健康スポーツ課長** おはようございます。

令和4年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書24ページをお開きください。初めに、歳入です。収入済額合計3,033万2,260円、前年度対比545万2,271円、21.9%増でございます。内訳といたしましては、療養費交付金、利用料、繰入金、繰越金及び諸収入でございます。

続いて、歳出です。25ページをご覧ください。支出済額合計3,023万2,164円、前年度対比545万2,498円、22.0%増でございます。

ページめぐりまして、26ページ、歳入歳出差引残額10万96円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書により主な項目をご説明

申し上げます。

293ページをお開き願います。歳入でございますが、1款1項1目訪問看護費交付金、収入済額2,086万3,029円、前年度対比19万7,948円、0.9%の減でございます。

2款1項1目利用料、収入済額201万4,958円、前年度対比12万9,233円、6.9%の増でございます。内訳は、介護保険、医療保険の利用者負担分でございます。

3款1項1目一般会計繰入金、収入済額729万1,000円、前年度対比558万5,000円、427.4%の増でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。295ページをご覧ください。1款1項1目訪問看護事業費でございますが、1節報酬から18節負担金補助及び交付金の項目において、支出済額3,023万2,164円でございます。

以上、令和4年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○**竹田陽一委員長** 次に、認第1号の令和4年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長。

○**渡部和喜子福祉あんしん課長寿介護・地域包括支援センター担当課長** おはようございます。

令和4年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

なお、これから申し上げる数字につきましては、歳入については収入済額、歳出につきましては支出済額、また、増減につきましては令和3年度決算額との比較となりますので、よろしくお願いいたします。

決算書の29ページをご覧ください。歳入合計は調定額32億6,670万4,928円に対し、収入済額は1.6%減の32億6,347万3,801円で、収入率は99.9%となりました。

31ページの歳出合計は予算現額33億8,042万円に対し、支出済額が31億5,904万6,569円で、3.7%減、予算執行率93.5%となりました。

32ページをご覧くださいまして、歳入歳出差引残額1億442万7,232円を翌年度に繰り越しさせていただきますものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げますので、297ページをご覧ください。最初に、歳入でございますが、1款1項介護保険料は、第1号被保険者保険料で、調定額6億5,385万4,900円に対し、0.4%減の6億5,062万3,773円、収納率は前年度同様の99.5%です。

2款1項手数料は6万3,141円、3款1項国庫負担金は介護給付費負担金で、298ページにかけまして、1.7%増の5億6,562万3,917円、2項国庫補助金は5.5%減の2億6,429万3,265円となり、主なものは調整交付金と地域支援事業交付金でございます。

299ページ、4款1項支払基金交付金は、1.5%減の8億3,693万1,000円、主なものは介護給付費交付金となります。

5款1項県負担金は、介護給付費負担金で、3.8%減の4億3,234万5,853円です。

300ページをご覧ください。2項県補助金は、地域支援事業交付金で、2.9%減の2,660万8,557円、6款1項財産運用収入は、基金積立金利息収入の3,601円、7款1項一般会計繰入金は、301ページにかけまして、4%減の4億4,255万858円、主なものは介護給付費繰入金でございます。2項基金繰入金はありません。

8款1項繰越金は3,599万5,871円となり、9款1項延滞金、加算金及び過料は2万1,100円となります。

302ページ、2項雑入は841万2,865円で、主なものは地域支援事業利用者負担金でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。303ページをご覧ください。1款総務費では、

1項総務管理費は18.4%減の678万724円、2項徴収費は108万8,443円です。

304ページ、3項介護認定審査会費は1,950万3,697円、305ページ、4項趣旨普及費は21万2,186円、5項高齢者福祉推進会議費は12万2,400円となりました。

2款保険給付費の1項介護サービス等諸費は、要介護認定者の介護サービス等給付費で、306ページにかけまして、3.4%減の27億3,954万1,616円です。2項介護予防サービス等諸費は、要支援認定者の介護予防サービス等給付費で、4.8%減の4,520万8,169円、307ページ、3項その他諸費は審査支払手数料で、263万4,051円です。

308ページ、4項高額介護サービス等費は、6.9%減の5,237万1,596円、5項高額医療合算介護サービス等費は、5.7%増の792万6,522円、6項市町村特別給付費は、支出ございませんでした。

309ページ、7項特定入所者介護サービス等費は、18.1%減の8,293万9,671円、3款地域支援事業費、1項介護予防・生活支援サービス事業費は、311ページにかけまして、5,041万4,763円、主なものはサービス事業費です。2項一般介護予防事業費は、312ページにかけまして、4.1%増の4,628万9,732円、3項包括的支援事業・任意事業費は、ページ飛びまして、317ページまで、5.1%減の7,281万8,063円となり、主なものは総合相談事業、任意事業、認知症総合支援事業です。

318ページをご覧ください。4項その他諸費は、審査支払手数料で、19万453円となりました。

4款1項基金積立金は、介護給付費準備基金積立金で、991万5,601円、5款1項償還金及び還付加算金は2,108万8,882円、6款予備費の支出はありませんでした。

以上が令和4年度長井市介護保険特別会計歳

入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○竹田陽一委員長 次に、認第1号の令和4年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について。

佐原勝博建設課長。

○佐原勝博建設課長 それでは、令和4年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明申し上げます。

決算書38ページをお開き願います。歳入につきましては、収入済額合計は前年度対比1,326万9,856円減の6,024万9,650円となり、調定額と同様となっております。

39ページをご覧ください。歳出につきましては、支出済額合計は前年度対比1,326万9,856円減の6,024万9,650円となりました。予算現額に対する執行率は、61.1%となっております。

40ページをご覧ください。歳入歳出差引残額は、ゼロ円となります。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

327ページをお開き願います。歳入につきましては、1款事業収入、1項1目宅地売払収入は5,395万円で、分譲9区画分の宅地売払収入でございます。

2款財産収入、1項1目利子及び配当金は859円で、基金運用利子でございます。

3款繰入金、1項1目宅地開発基金繰入金は629万4,291円でございます。

328ページをご覧ください。4款使用料及び手数料、1項1目使用料は4,500円で、財産目的外使用料でございます。

329ページをご覧ください。歳出につきましてご説明申し上げます。1款1項1目宅地開発総務管理費につきましては405万1,539円で、売買代理手数料、宅地開発基金積立金などがございます。

1款2項1目宅地造成費につきましては18万4,800円で、分譲地内の電柱移設等に係る手数料になってございます。

2款1項1目元金につきましては5,570万円で、長期償還元金になってございます。

2款1項2目利子につきましては、長期債利子の31万3,311円でございます。

以上、令和4年度宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

認第2号 令和4年度長井市水道事業会計決算認定について

認第3号 令和4年度長井市下水道事業会計決算認定について

議案第66号 令和4年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

議案第67号 令和4年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

○竹田陽一委員長 次に、認第2号 令和4年度長井市水道事業会計決算認定から議案第67号 令和4年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてまでの4件について。

板垣浩美上下水道課長。

○板垣浩美上下水道課長 認第2号 令和4年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書349ページ、水道1ページをお開き願います。以降、水道ページで申し上げます。

それでは、決算報告書につきましてご説明申し上げます。

初めに、収益的収入及び支出の収入でございますが、第1款水道事業収益の決算額は8億

2,174万4,137円で、予算額と比較いたしまして、1億1,198万4,137円の増となりました。主な要因といたしましては、第3項特別利益の過年度損益修正益の決算額が9,395万7,785円であったことによるもので、内容といたしましては、令和3年度決算処理に係る指摘事項のダム使用権の過年度分長期前受金戻入益でございます。

次に、支出でございますが、第1款水道事業費用の決算額は5億8,938万3,309円で、不用額は974万9,691円となりました。

次に、2ページから3ページの資本的収入及び支出をご覧ください。収入でございますが、第1款資本的収入の決算額は1億5,197万4,000円で、予算額と比較いたしまして、1,856万4,000円の減となりました。主な内容ですが、管路布設替工事の企業債や市道平山境町線送水管布設替工事に係る国庫補助金などがございます。

3ページの支出につきましては、第1款資本的支出の決算額は4億8,086万8,782円で、翌年度繰越額は680万円、不用額は2,120万8,218円となりました。主な内容でございますが、第1項建設改良費は送水管及び配水管工事のほか、平山浄水場の寺泉系電気計装設備更新工事でございます。

なお、支出の表の下に記載しておりますが、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億2,889万4,782円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額などをもって補填いたしました。

次に、4ページ、5ページの損益計算書をお開き願います。

まず、1の営業収益でございますが、給水収益から他会計繰入金までを合計し、6億1,741万7,524円となりました。2の営業費用につきましては、水道施設の運転業務委託料や維持管理費用などで、浄水及び配給水費からその他営業費用までを合計し、4億7,322万7,588円とな

りました。営業利益につきましては、1億4,418万9,936円となっております。3の営業外収益につきましては、受取利息及び配当金から長期前受金戻入までを合計し、4,937万5,414円となりました。4の営業外費用につきましては、企業債の支払利息などで合計が5,257万5,453円で、結果、営業利益に営業外収益を加え、営業外費用を差し引いた経常利益は1億4,098万9,897円となりました。特別利益の過年度損益修正益は、全てダム使用権に係る過年度分長期前受金戻入益で、6、特別損失の過年度損益修正損にはダム使用権に係る過年度分減価償却費が計上されております。

経常利益に特別利益を加え、特別損失を差し引いた当年度純利益につきましては2億1,704万1,403円となり、前年度繰越利益剰余金とその他未処分利益剰余金変動額を合わせた当年度未処分利益剰余金は9億1,351万267円となったところでございます。

次に、6ページをお開き願います。剰余金計算書について説明申し上げます。

まず、資本金につきましては、当年度変動額はなく、年度末残高は11億6,398万8,238円でございます。資本剰余金については、みなし償却制度廃止に伴う移行処理の修正により、当年度末の資本剰余金の残高は3,476万3,951円となりました。

利益剰余金の未処分利益剰余金でございますが、過年度分の修正処理により、5億1,695万3,327円増加し、減債積立金の取崩しと、当年度純利益を加えまして、当年度末の残高は9億1,351万267円となり、利益剰余金合計の当年度末残高は13億2,081万267円、よって、資本合計の当年度末残高は25億1,956万2,456円となりました。

次に、8ページから10ページの貸借対照表により、財産の状況をご説明申し上げます。

初めに、資産の部でございますが、1の固定

資産は有形固定資産から投資までを合計し、61億5,214万4,149円、9ページに移りまして、2の流動資産については、現金及び預金から貸倒引当金までを合計し、9億4,851万8,694円で、固定資産と流動資産を合わせた資産合計は71億66万2,843円でございます。

次に、負債の部でございますが、3の固定負債は建設改良等の財源に充てるための企業債で、28億4,517万5,769円、4の流動負債につきましては、企業債から引当金までを合計し、3億6,895万3,360円、10ページに移りまして、5の繰延収益については、長期前受金から収益化累計額を差し引いた額で、13億6,697万1,258円で、負債の合計は45億8,110万387円となりました。

資本の部につきましては、6ページの剰余金計算書で説明したとおりでございますので、説明を省略させていただきますが、最後尾の負債資本の合計は資産合計と同額の71億66万2,843円でございます。

次に、ページ飛びまして、水道33ページをお開き願います。キャッシュフロー計算書をご説明申し上げます。これは現金預金の動きを活動区分別に表示したものです。

初めに、1の業務活動によるキャッシュフローにつきましては、当年度純利益から利息の支払額までを合計し、3億1,460万3,927円となりました。2の投資活動によるキャッシュフローにつきましては、有形固定資産取得による支出から、その他の資本剰余金による収入までを合計し、マイナス2億1,477万6,663円、3の財務活動によるキャッシュフローでは、企業債の借入れや償還で、マイナス1億6,010万4,147円となりましたので、結果、令和4年度期首の資金残高から6,027万6,883円減少し、令和4年度末における資金残高は9億1,268万198円となりました。

なお、11ページから50ページにかけて、決算附属書類として経営状況や建設改良工事の概要

などを載せておりますので、ご参照いただきたいと思います。

以上が令和4年度水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第66号 令和4年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

決算書の355ページ、水道7ページの令和4年度長井市水道事業剰余金処分計算書をお開き願います。

処分の内容でございますが、令和4年度の未処分利益剰余金9億1,351万267円のうち、5億8,695万3,327円を資本金に組み入れ、3億円を減債積立金に積み立て、残余の2,655万6,940円を令和5年度へ繰越いたすものでございます。これによりまして、資本金残高は17億6,816万4,312円に、資本剰余金は1,754万1,204円となるものでございます。よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

次に、認第3号 令和4年度長井市下水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書399ページ、下水道1ページをお開き願います。

決算報告書からご説明申し上げます。

初めに、収益的収入及び支出の収入でございますが、第1款公共下水道事業収益から第4款浄化槽事業収益まで4事業を合わせた収益的収入の決算額は、2ページになりますが、9億3,533万7,460円で、予算額に対し、628万5,540円の減となりました。主な要因といたしましては、下水道、農集浄化槽使用料が当初見込みより収入減となったことによるものです。

支出につきましては、第1款公共下水道事業費用から、3ページの第4款浄化槽事業費用までの4事業を合わせた決算額は9億2,011万7,356円で、不用額は842万6,644円となりました。主な内容といたしましては、公共ますやマ

ンホール、雨水幹線などの維持管理経費や、汚水処理施設の運転保守管理費用などでございます。

4ページをお開き願います。資本的収入及び支出でございますが、収入の第1款公共下水道事業資本的収入から、5ページの第4款浄化槽事業資本的収入まで4事業を合わせた資本的収入の決算額は4億6,089万6,275円で、予算額に対し、9,964万725円の減となりました。

6ページをお開き願います。支出につきましては、第1款公共下水道事業資本的支出から、7ページの第4款浄化槽事業資本的支出まで4事業を合わせた資本的支出の決算額が8億5,240万770円で、翌年度繰越額が6,935万円、不用額は3,570万8,230円となりました。建設改良費の内容につきましては、米沢養護学校西置賜校整備に伴う管渠敷設工事や、今泉地区農業集落排水施設の改修と管路更新工事及び浄化槽35基分の設置工事などがございます。

なお、支出の欄外に記載しておりますが、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億9,150万4,495円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額などをもって補填いたしました。

次に、8ページ、9ページの損益計算書をお開き願います。1の営業収益につきましては、下水道使用料から他会計負担金までを合計し、3億9,604万788円でございます。2の営業費用につきましては、下水道、農集浄化槽の各施設の維持管理費用で、管渠管理費からその他営業費用までを合計し、8億1,283万4,821円でございますので、結果、営業利益はマイナス4億1,679万4,033円となりました。

9ページの3、営業外収益でございますが、受取利息及び配当金から雑収益までを合計し、4億9,753万8,836円、4の営業外費用は支払利息及び企業債取扱諸費から雑支出までを合計し、7,185万3,459円でございます。結果、経常利

益につきましては889万1,344円となりました。

5、特別損失の過年度損益修正損は、冬期概算の精算還付金で、経常利益から特別損失を差し引いた当年度純利益につきましては822万1,453円で、前年度繰越利益剰余金1,038万3,105円を加えた当年度未処分利益剰余金につきましては1,860万4,588円となりました。

次に、10ページをお開き願います。剰余金計算書についてご説明申し上げます。

初めに、資本金につきましては、当年度変動額として期首残高の修正、こちらは令和3年度決算処理に係る指摘事項で、法適用開始時の開始貸借対照表の長期前受金計上誤りを修正いたしましたものでございます。こちらが1億305万3,181円増加し、資本金の年度末残高は35億1,109万5,940円となりました。

資本剰余金につきましては、期首残高の修正により、年度末残高は1億3,012万5,855円となりました。利益剰余金の未処分利益剰余金につきましては、中段の処分後残高に当年度純利益を加えました1,860万4,558円が年度末残高となり、結果、資本金と剰余金を合わせた資本合計の当年度末残高は36億5,982万6,353円となりました。

次に、12ページから14ページの貸借対照表により、財産状況をご説明申し上げます。

まず、資産の部でございますが、1の固定資産は有形固定資産のみで、合計が143億9,859万1,261円、2の流動資産は現金及び預金から貸倒引当金までを合計し、1億5,247万423円で、資産合計は145億5,106万1,684円となりました。

次に、負債の部でございますが、3の固定負債につきましては44億1,394万9,738円、4の流動負債につきましては、企業債から引当金までを合計し、7億360万9,747円、5の繰延収益については、長期前受金から収益化累計額を差し引いた額で、57億7,367万5,846円。よって、負債合計は108億9,123万5,331円となりました。

14ページの資本の部につきましては、10ページの剰余金計算書でご説明申し上げたとおりでございますので、説明を省略いたしますが、最後尾の負債資本の合計は資産合計と同額の145億5,106万1,684円でございます。

ページ飛びまして、下水道33ページをお開き願います。キャッシュフロー計算書についてご説明申し上げます。

1の業務活動によるキャッシュフローでございますが、当年度純利益から利息の支払額までの合計が3億8,826万399円、2の投資活動によるキャッシュフローは、有形固定資産取得による支出からその他までの合計が1億3,230万9,498円、3の財務活動によるキャッシュフローにつきましては、企業債の借入れや償還などでマイナス5億1,377万3,054円となりましたので、結果、令和4年度期首の資金残高から679万6,843円増加し、令和4年度末における資金残高は5,511万6,966円となりました。

なお、15ページから61ページに決算附属書類として経営状況や建設改良工事の概要などを掲載しておりますので、ご参照いただきたいと存じます。

以上が令和4年度下水道事業会計決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第67号 令和4年度長井市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

決算書の409ページ、下水道11ページの令和4年度下水道事業剰余金処分計算書をお開き願います。

処分内容でございますが、令和4年度の未処分利益剰余金1,860万4,558円のうち、94万1,296円を資本金に組み入れるとともに、残余の1,766万3,262円を令和5年度へ繰越いたすものでございます。これによりまして、資本金の残高は35億1,203万7,236円となるものでござい

ます。

よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

○竹田陽一委員長 以上で概要の説明が終わりました。

令和4年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○竹田陽一委員長 これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。

金子豊美委員の総括質疑

○竹田陽一委員長 順位1番、議席番号12番、金子豊美委員。

○12番 金子豊美委員 おはようございます。

初めに、今日9月8日は白露です。白露は、二十四節気の15番目に当たります。白露の一つ前の節気は処暑、8月3日頃で、一つ後の節気は秋分、9月23日頃で、白露にはこの日から次の節気の秋分前日までの期間としての意味もあると言われていています。いよいよ秋の気配が迫り、大気が冷え、夜間に気温が下がり、大気中の水蒸気が草花に朝露となってつくようになる、光によって白く見える露ができ始める頃という意味で、白露とされているとのこと。日々、日照時間が短くなり、本格的な秋も間近く迎えようとしています。

9月5日に市内で交通死亡事故が発生しました。長井市の死亡事故ゼロは、1,537日で途切れました。9月21日から、秋の交通安全県民運動が実施されます。運転者も歩行者も、一人一